

※関連計画：2050東京戦略 3か年のアクションプラン、福祉・保健医療分野DX推進計画ver.2.0 等

1 事業概要

- 結核は、全数管理を行う感染症の中で患者数が多く、治療・経過観察のため長期にわたる患者管理が必要
また、患者の接触者についても健診管理が必要。特に集団感染の可能性がある場合、管理対象の接触者も多数
- これまで紙で管理していた患者の「結核登録票」をデジタル化し、**患者・接触者対応のための管理ツールを構築**



2 ツールのポイント

- ① **患者・接触者情報と進捗管理表をアプリに統合**
⇒ ・アプリ内でも業務フローに応じてタブで情報整理。業務に応じた一覧・リストで効率的に進捗管理
・帳票出力まで一貫 例) 入院勧告、診査会諮問書、定期病状調査書、結核登録票
- ② **都保健所の結核業務を標準化し、都保健所間での情報連携による業務の効率化**
⇒ 職員間の情報共有や進捗管理を効率化し、よりきめ細かな患者対応に注力
- ③ **ダッシュボードで管内の結核概況などをリアルタイムで「見える化」**
⇒ 新登録患者の状況、患者の通院及び入退院状況、検診状況、定例診査協議会の案件予定などを一目で把握



3 令和7年度の導入・改修状況

- 令和7年8月に多摩小平・島しょ、10月に西多摩・南多摩保健所へ導入し、**全都保健所において運用開始**
- **都保健所の実務担当者向けに意見交換会・アンケートを実施し、現場の運用実態に即した意見等を集約した上で随時改修を実施**
▶ より患者支援の流れに沿った視認性の向上や操作性の改善等に取り組んだ
- **今後も引き続き、各保健所の意見等を踏まえ、より活用しやすいツールとなるよう改修を実施していく**

R5年度	R6年度		R7年度
・企画立案支援 ・都保健所ヒアリング、業務分析	(6月～) システム開発 ユーザテスト	(10月) 多摩府中、多摩立川 に先行導入	保健所の意見等を踏まえ随時ブラッシュアップ 他の4都保健所に導入 第1陣(8月): 多摩小平、島しょ 第2陣(10月): 西多摩、南多摩